

パブリックコメントに寄せられた意見

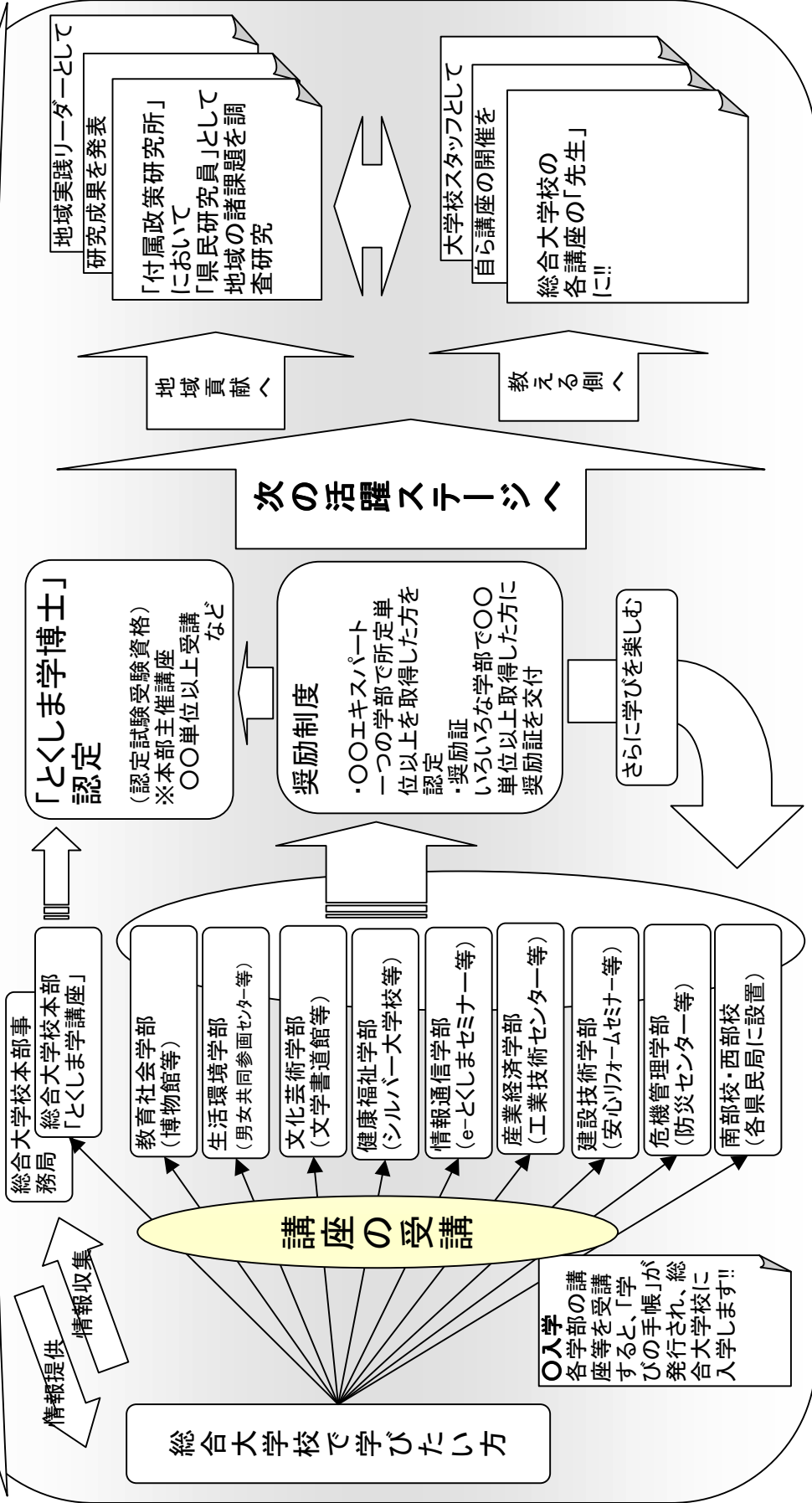
資料③

- 1 パブリックコメント募集期間 平成19年12月17日(月)～平成20年1月15日(火)
2 意見提出数・人数 36件 9人

	大項目	項目	意見の要旨
1	第2	基本理念	「徳島県立総合大学校」を徳島県における「生涯学習・総合学習の拠点」としての位置づけを行う。
2	第3	1人材育成	自治研修センターと総合教育センターの担当区分を県民に明確化。特に講座内容等の情報収集や入学手続き、単位取得届けや講座受講に出入りする者に支障をきたさない、施設面積や駐車場の確保。
3	第3	2生涯学習	従来の「とくしま県民カレッジ」奨励証の500単位迄は残すべきである。ただし、1000単位からの特別賞は廃止すべきである。経過措置として20年9月までは現行制度を存続してはどうか。
4	第3	2生涯学習	エキスパートの認定やとくしま学博士の受験資格には、従来の大学卒業者や公的資格(ホームヘルパー、パソコン等)も考慮すべきである。
5	第3	2生涯学習	(「とくしま県民カレッジ」にて実施している単位認定方法について、)すだちくんシールを貼付する方式から、受講者に学びの手帳と事務局が記入もしくは受講済証を貼付する方式に変更する(講座一覧に記載無きものの単位認定を排除する。)
6	第3	2生涯学習	科目授業の一貫性を持たせ、予習や復習も必要とする内容にする。ただ出席するだけで単位取得できるのであれば、学びの場がサロン化する。
7	第3	2生涯学習	「危機管理学部」と消防大学校、防衛大学校との連携
8	第3	2生涯学習	「男女共同参画学部」における内閣府男女共同参画局や各女子大学等との連携
9	第3	2生涯学習	インターネット通信による学習機会の充実を図るにあたり、内容の充実が必要であるとともに、常時配信が可能となるシステムとしてほしい。
10	第3	2生涯学習	講座や講演会の開催場所については、公共交通機関しか利用できない者にも行きやすい場所での開催を多くすること。
11	第3	2生涯学習	西部校、南部校やサテライトキャンパスを設置するとのことだが、開催場所や日時については誰もが気軽に参加できる環境整備や工夫をするとともに、案内図など分かりやすい情報の提供が重要であると考えます。
12	第3	3人材活用	「とくしま学博士」認定は、ペーパーテストと短答式口頭試験合格者とする。
13	第3	3人材活用	「とくしま学博士」認定者で、次の活躍ステージに進む者には、6カ月程度のスキルアップ学習を課する。 その後適性と希望によって地域貢献なり、教える側に進み社会貢献してもらう。
14	第3	3人材活用	学びのイメージとして、とくしま学博士や奨励制度によって、次の活躍ステージがあるが、なるべく多くの方が、地域のリーダーや大学校のスタッフとして活躍できるようにしてもらいたい。
15	第3	3人材活用	ボランティア的な面も大事だが、大学校の講師として講演する場合、無償ではなく、金額の多少に関わらず有償となれば、学ぼうとする意欲も大きくなるし、大学校で学ぶメリットとして大きいと思う。
16	第3	4政策支援	「付属政策研究所」は新たに設置する必要はなく、徳島大学(財)とくしま地域政策研究所に教育運営を委託すべきである。
17	第3	4政策支援	総合大学校の頭脳部分として付属政策研究所を設置するとのことだが、これからの時代、とくしまらしさを全国にアピールするためにも、上勝の彩りなど、地域の新たな取り組みにつながるような研究は必要だろうと思うが、新たな箱物など建設しないように、既存の遊休施設を利用して進めるべきであろうと思う。

	大項目	項目	意見の要旨
18	第3	4政策支援	職員も増員とならないよう工夫して研究を進めていくべきだと思う。そして、私たち県民やNPOがこの研究所の研究に参加できるような仕組みを工夫してほしいと思う。
19	第3	4政策支援	付属政策研究所においても、懸賞付きの個人研究の成果を募集するなど、個人の成果を評価するような仕組み作りを考えることが重要だと思う。
20	第3	5情報集積・発信	民間の教育機関では当たり前のことであるが、ホームページから希望する講座の受講申込ができるシステムを構築し、利便性を高めることが必要であると思う。
21	第3	5情報集積・発信	インターネットなどICTばかりでなく、広報誌による講座のお知らせについても、これを見れば全て分かるというような情報の提供を、私たちにわかりやすい方法で行っていただくことをお願いします。
22	第4	学部等の構成	「地方分権学部」の開設。道州制について学ぶ。
23	第4	学部等の構成	「青少年育成学部」の開設。青少年指導者等の育成。
24	第4	学部等の構成	「男女共同参画社会学部」の開設。男女共同参画リーダーの養成
25	第4	学部等の構成	産業経済学部に労働専攻(労働法、労働経済学、労働事情等)の開講
26	第4	学部等の構成	「自然科学部」の開設。数学専攻、統計学専攻、物理学専攻、化学専攻、生物学専攻、地球科学専攻、科学史専攻等の開講
27	第4	学部等の構成	「人文学部」の開設。国文学専攻、哲学専攻、歴史学専攻、漢文学専攻、教育学専攻、心理学専攻等の開講
28	第4	学部等の構成	「外国語学部」の開設。英語専攻、ドイツ語専攻、フランス語専攻、中国語専攻等の開講
29	第4	学部等の構成	生活環境学部に和裁専攻(和裁裁縫、和裁装着等)と洋裁専攻の開講
30	第4	学部等の構成	「社会科学部」の開設。法学専攻、政治学専攻、新聞学専攻、経済学専攻、商学専攻、社会学専攻の開講
31	第4	学部等の構成	「芸術学部」の開設。美術学専攻、音楽学専攻、映画学専攻、写真学専攻、演劇学専攻、書道学専攻、文芸学専攻、放送学専攻の開講
32	その他	書式	「目次」をかならず付けてほしい。全体の内容・構成がわかる。
33	その他	各機関	博物館などの社会教育機関と研究機関の一般県民に対するはたらきは別物だ。現在どんな働きをしているかと明確にして、はっきり書いておく必要がある。
34	その他	各機関	それぞれの機関が本来の活動として、どんな事業を来年度に行う予定であるかを書いてほしい。
35	その他	各機関	博物館・文学書道館利用者の「友の会」、文書館などの講座修了生など恒常的な利用者の活動を「構想」の中にはっきり位置づけ援助する。
36	その他	各機関	現在、入館料などを規定する「条例」を廃止し、県民が無料で利用できるようにする。いろんな優遇措置で定額徴収できていない。

徳島県立総合高等学校の学びのイメージ



※医療専門養成コース(看護専門学校、看護学院)、産業人材養成コース(テクノスクール、農業高等学校)はそれぞれの学校の規定で入学・卒業となります。